



INTERMOLD 2012

金型展2012

2012年4月18日(水)～21日(土)

インテックス大阪

主催：社団法人日本金型工業会・テレビ大阪

運営：インターモールド振興会

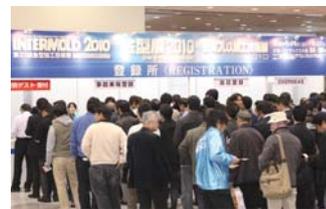
<http://intermold.jp>

出展の
ご案内

開催概要/出展規程/申込方法

開催概要

名 称	INTERMOLD 2012(第23回金型加工技術展) 金型展2012
会 期	2012年4月18日(水)~21日(土)
開 場 時 間	10:00~17:00
会 場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
主 催	社団法人日本金型工業会・テレビ大阪
運 営	インターモールド振興会(株式会社アイ・ティ・ピー内)
後 援	経済産業省 外務省 大阪府 大阪市 独立行政法人日本貿易振興機構 大阪商工会議所 日本経済新聞社 (順不同/申請予定 ※INTERMOLDのみ)
協 賛	社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、社団法人日本金属プレス工業協会、日本小型工作機械工業会、日本工具工業会、超硬工具協会、社団法人日本鍛造協会、社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、型技術協会、日本プラスチック機械工業会、社団法人日本ダイカスト協会、RP産業協会、社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、社団法人日本自動車部品工業会 (順不同/申請予定 ※INTERMOLDのみ)
公式サイト	http://intermold.jp
前回大阪展来場者数	40,283人 (INTERMOLD/金型展/金属プレス加工技術展[2010年]の合計)
予想来場者数	45,000人 (併催展を含む)
入 場 料	1,000円 (招待券持参者および事前来場登録者は無料)
併 催 企 画	「基調講演」「出展者によるプレゼンテーションセミナー」 「主催者セミナー」「部品加工技術フェア」ほか
併 催 展	金属プレス加工技術展2012



出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	336,000円(税込) 320,000円(出展料金)+ 16,000円(消費税)	409,500円(税込) 390,000円(出展料金)+ 19,500円(消費税)
会員	315,000円(税込) 300,000円(出展料金)+ 15,000円(消費税) 社団法人日本金型工業会正会員のみ適用	388,500円(税込) 370,000円(出展料金)+ 18,500円(消費税)

小間形態

小間の大きさ：間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9㎡)

形態：単列または複列を選択

(※複列は4小間以上の出展に限ります)

小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

[Bタイプ設備内容](1小間あたり)



(Bタイプ参考例)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、バラベット
- カーベット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台) ●パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯) ●蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。

※受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

- 1 出展申込書に必要事項をご記入・ご捺印の上、下記提出先に郵送、またはFAXでお申し込みください。なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず郵送してください。
- 2 出展申込書裏面に主な出展規程を記載しておりますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。
- 3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込みの場合、AタイプとBタイプを混在して申し込みすることはできません。

申込書提出先

※郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 株式会社アイ・ティ・ピー内

TEL:06-6944-9911 FAX:06-6944-9912

申込締切日 2011年11月30日(水)

※但し、満小間になり次第締切ります。

支払期日 2011年12月26日(月)

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みください。

※掲載内容は2011年7月時点の予定であり、変更する場合がありますので予めご了承下さい。

出展対象製品・サービス/主要スケジュール(予定)

※下記内容は2011年7月時点の予定であり、都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。

出展対象製品・サービス

INTERMOLD 2012

工作機械

マシニングセンタ、ターニングセンタ、ドリリングセンタ、各種研削盤、各種立削り盤、各種フライス盤、各種放電加工機、各種仕上機械、各種複合加工機、各種旋盤、各種ボール盤、各種中ぐり盤、モジュラユニット専用機、自動組立機、特殊加工機械(レーザー加工機・電解加工機など)、金型自動磨き装置、その他

工作機器

工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機械(位置決めテーブル、切削処理装置、給油潤滑装置)、その他

特殊鋼工具・超硬工具・ダイヤモンド工具

工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド及びCBN工具、サーメット工具、セラミック工具、その他機械工具

研削砥石・研磨材

精密測定器・光学測定機・試験器

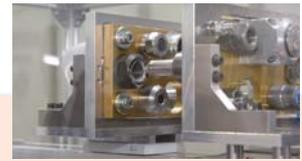
ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測定機器、形状・あらさ測定機器、自動精密測定機器、投影機、金属顕微鏡、試験機器、その他

プレス機械

サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、ベンディングマシン、剪断機、鍛造機、装置、線材加工機、各種塑性加工機、その他

プラスチック加工機械

各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空注型機、圧縮成形機、熱成形機、発砲成形機、押出機、押出成形装置、遠心成形装置、その他



プラスチック加工機械周辺機器および原材料・副資材など
成形機械部品・付属装置、試験機・測定機、計器・コントローラ、二次加工機器、ロボット(取出機・インサート装置など)、原材料・副資材、成形サンプル(製品・半製品)、その他

機械系・金型用 CAD/CAM/CAEシステム

造形システム(ラピッドプロトタイピングシステム)

試作・モデリング関連

FA関連機器・装置、NC装置、自動プログラミング装置

生産管理システム

金型材、金型部品、金型加工システム、金型表面処理、その他関連製品

金型周辺機器

金型温度調節機、金型自動交換装置、金型内ガス抜き装置、金型反転機、金型冷却装置、ホットランナ装置、モールドベース、金型監視装置、金型補修機器、その他

金型メンテナンス関連

図書・文献・資料

金型展2012

各種金型

プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、ガラス用、窯業用など

成形サンプル

試作金型

各種研究機関・工業会・組合など

プレゼンテーションセミナー(有料)

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術の発表」「製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、「出展申込書」のセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出頂きます。

テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

定員 50~100名程度

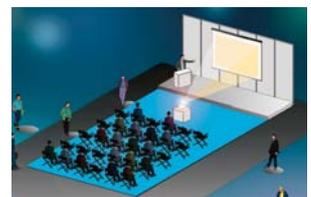
開講料 1時間/63,000円(税込)

オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

定員 約30名(但し、立ち見も可能です)

開講料 45分/52,500円(税込)



ご注意

※時間延長はできません。※複数のセッションを開講することも可能です。※プログラムは、開講する出展者の希望を考慮し、事務局が調整します。※上記料金は、2011年7月時点の予定です。展示規模などの都合により、上記料金を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

主要スケジュール

出展申込
期限

2011年
11月30日(水)

出展料金
支払期限

2011年
12月26日(月)

出展者
説明会(大版)

2012年
2月中旬
予定

出展業務
手続き

2012年
2月中旬より
順次

展示会場
搬入・装飾

2012年
4月15日(日)
~17日(火)

INTERMOLD 2012
金型展2012

開会 2012年4月18日(水)

閉会 2012年4月21日(土)

搬出・撤去

2012年
4月21日(土)
17時
~
4月22日(日)
12時



がんばろう日本のものづくり

世界最高レベルの“金型技術”を、 グローバル市場で競争力のある 商品・ものづくりの源泉に!!

『世界最高の技術力そのものが、競争力のある商品である。』

日本の金型産業は、世界最高水準の高精度・超精密・高機能の技術を有し、日本・世界のものづくりを支えています。

「求められる進化」

- ・高付加価値の金型
- ・ものづくりのトレンドに対応した生産技術



「グローバル市場」

- ・新規市場・潜在需要市場の開拓
- ・海外からの来場動員強化の為、アジア、ヨーロッパの各工業会との連携を図ります。

「海外ネットワークの強化」

- 1 海外展示会との連携
Euromold、Asiamold
とのコラボレーション
「営業力強化」競争力のある商品を
需要のある世界市場へ
・新規市場の開拓
・海外企業との連携・海外パートナーシップ



- 2 海外アライアンスの構築
海外を市場・製造拠点とした企業戦略に
よって、加速する日系企業の現地調達や
新興国市場の拡大をビジネスチャンスに。
・FADMA (アジア11ヶ国の
金型工業会連合会)との連携
・アジア各国の展示パビリオン
・JETROとの連携 (海外顧客の誘致など)
・企業進出説明会、投資説明会の開催



売れる商品・競争力のある商品

日本のものづくり
メイド・イン・ジャパン

「日本で作って、世界に売る」

世界最高レベルの技術を有する日本で開催されるINTERMOLD、金型展には、
世界市場を舞台に活躍する『ものづくりのプロ』が集まり、
出展企業と来場者が「明日のものづくり」を生み出す
ビジネスマッチングの場を提供します。

展示会内企画

1 基調講演の開催

大手ユーザー、自動車関連、航空宇宙産業、エネルギー関連産業から講演者を招き、「当該企業の取組み」や「業界の今後」について最新情報を交え、ご講演いただきます。



2 部品加工技術フェアの開催

部品加工事業者に対して、今後の事業展開のヒントとなるよう、自動車部品、航空機部品関連業界を中心としたプレゼンテーションを行います。協力団体:次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)、社団法人日本自動車部品工業会、まんでんプロジェクト

3 出展者によるプレゼンテーションセミナー

“出展者による新技術の発表”“製品PR”“ユーザーによる製品活用事例の紹介”など、様々な用途に応じて活用できる「セミナースペース」(有料)を設置します。



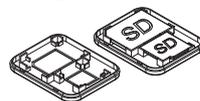
4 金型グランプリの開催

日本・中国・韓国の大学で“金型”を学ぶ大学生・大学院生が、成形品(プラスチック・プレス)の製品図面にに基づき製作した“金型”と“成形品”をそれぞれ展示。来場者よりご好評いただき三回目の開催が決定。展示ホール内で各国大学生による金型製作技術をご覧頂くことにより、未来を担う若者の人材育成を促進します。

(2011年度課題)



【プレス金型部門課題】
コーヒースプーン



【プラスチック金型部門課題】
SDカードケース

5 金属プレス加工技術展の同時開催

成形メーカーの業界団体である社団法人日本金属プレス工業会主催“金属プレス加工技術展”を同時開催することにより、最終製品メーカー(自動車・エレクトロニクス・航空宇宙分野etc.)からの来場を促進します。



6 商談予約システム

来場者は公式ホームページにあるこのシステムを使用し、事前に出展企業へアポイントを申し込むことができます。

金型
メーカー

金型
ユーザー

成形加工メーカー

関連機器
メーカー

商社



ジャパンブランド=高性能商品

日本のもづくり
メイド・イン・ジャパン

「日本で作って、世界に売る」

圧倒的な競争力、商品力を生み出す
企業の連携を創出します。

金型メーカー

金型ユーザー

部品メーカー

完成品メーカー

新分野への進出、連携を図ります。
・異業種・異分野とのコラボレーション
・新規需要の創出、ビジネスマッチング
・技術セミナー、講演会、商談会の開催
・内製化への提案など

金属プレス加工技術展
2012

部品加工技術フェア

(社)日本金属
プレス工業協会

プレス技術・
プレス成形業者

(社)日本自動車部品工業会
まんでんプロジェクト
次世代型航空機部品
供給ネットワーク(OWO)

自動車・自動車部品
航空機部品関連
医療機器関連

2010年 開催実績(大阪)

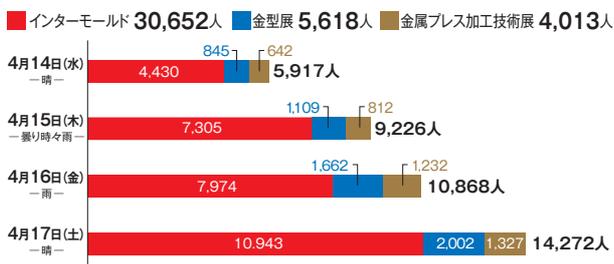
開催データ

開催概要

※下記概要データは3展を合計

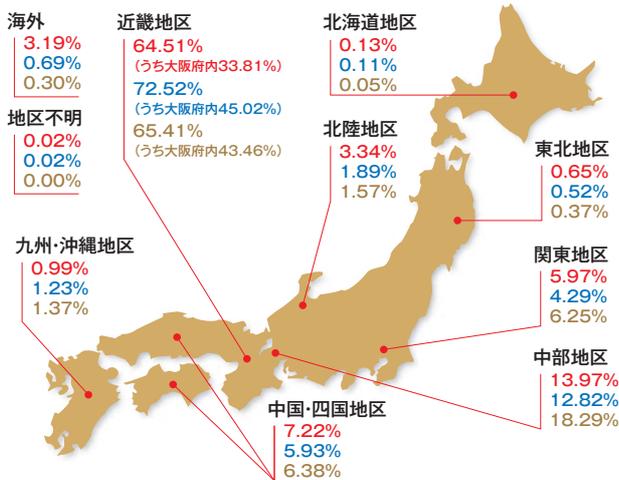
名称	INTERMOLD 2010「第21回 金型加工技術展」 金型展2010
併催	金属プレス加工技術展2010
会期	2010年4月14日(水)~17日(土) 10:00~17:00
会場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)
出展規模	294社・団体 675小間
来場者数	40,283人

来場者数



来場者の地域分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

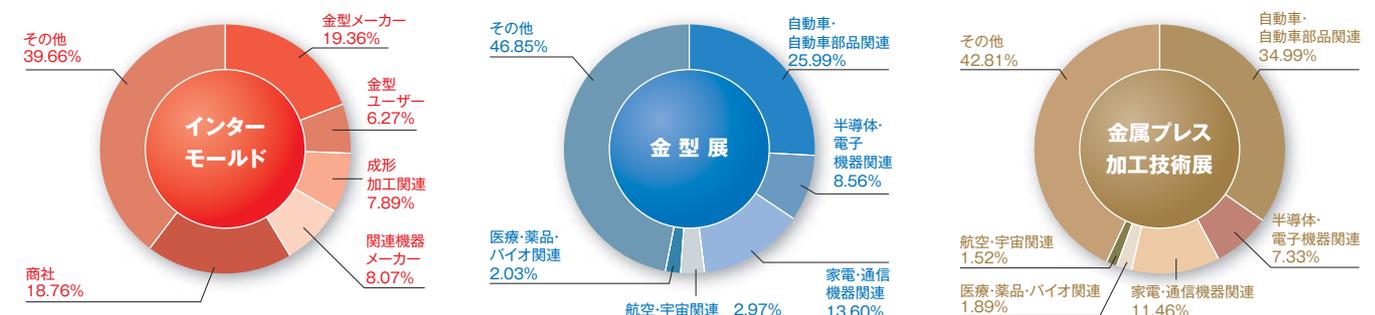


海外来場者の地域分類



来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示



併催企画

●基調講演

「環境革新企業を目指したパナソニックのものづくり」
パナソニック株式会社 役員 生産革新本部長 野村 剛氏

●特別講演会

「ものづくり再構築 -不況克服への鍵を探ろう-」
主催:社団法人日本金属プレス工業協会
コーディネータ:ファインテック株式会社 代表取締役社長 東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄氏

講演1 「日本の素形材産業と日本のものづくり」
独立行政法人産業技術総合研究所 総括企画主幹 渡邊 政嘉氏

講演2 「IT化が変える精密プレス加工工場」
株式会社KB 代表取締役社長 平井 和夫氏

講演3 「ライバルは“お客様の期待”+ Process Innovation への挑戦」
ホンダエンジニアリング株式会社 二・四・汎車体型部門 執行役員 田岡 秀樹氏

講演4 「インド自動車産業と世界の低価格車動向」
東京大学 経済学部 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋氏

●第2回「日本・中国・韓国 大学 金型グランプリ」

●部品加工技術フェア

航空機・自動車部品 協力団体展示コーナー
・社団法人日本自動車部品工業会
・次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)
・まんでんプロジェクト

出展者による各業界向け部品加工サンプル展示コーナー

航空機・自動車部品 協力団体プレゼンテーション

出展企業によるプレゼンテーション

●テクニカル・ワークショップ 全9セッション開講

●オープンセミナー 全28セッション開講

出展状況

出展物	社数
金型・金型材・金型部品等	98社
工作機械	35社
工作機械用付属機器など	29社
切削工具	20社
機械工具・研磨・砥石関連	20社
金属加工関連機器	35社
各種油剤・ケミカル製品など	10社
プレス加工機	14社
プレス加工機用周辺機器	10社
プラスチック加工機械・関連機器	11社
精密測定機器・光学測定機器	28社
CAD/CAM/CAE システムなど	35社
試作・モデリング	11社
精密部品加工技術	52社
各種団体・研究機関など	11社
その他関連機器など	3社
図書・文献・資料	5社

第3回「学生金型グランプリ」 ～学生が製作した金型・成形品を展示～

～次世代の「ものづくり」を担う人材～
日本・中国・韓国の大学で「金型」を学ぶ学生が、課題に基づき製作した金型と成形品を展示します。また、製作過程を発表するプレゼンテーションを開催します。

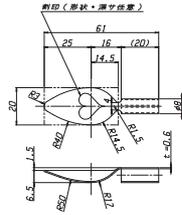
■場 所：社団法人日本金型工業会 特設展示スペース(小間番号531)
■主 催：社団法人日本金型工業会

参加大学

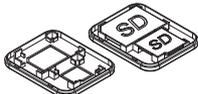
【日本】
岩手大学
九州工業大学
岐阜大学 金型・創成技術研究センター
職業能力開発総合大学校東京校
大分県立工科短期大学校

【中国】
大連工業大学
大連大学
大連市軽工業学校

【韓国】
ソウル科学技術大学校
公州大学校
柳韓大学



【プレス金型部門課題】
コーヒースプーン



【プラスチック金型部門課題】
SDカードケース

部品加工技術フェア ～部品産業における事業展開のヒントを探る～

特別講演会

【(社)日本自動車部品工業会】

●『自動車部品の展望～新興国のクルマづくりと先進環境自動車の対応～
インドタナノの実力、中国部品企業の最新情報』

■講 師：(社)日本自動車部品工業会 顧問(元総合技術委員長) 松島 正秀氏

【まんてんプロジェクト】

●『航空・宇宙部品産業への参入の取り組み』

開会挨拶 まんてんプロジェクト会長 滝澤 清氏

講演①『中小企業よ航空宇宙産業への参入をめざせ』

JASPA(株)取締役 千田 泰弘氏

講演②『国内各地域の航空・宇宙関連団体の動向』

(独)宇宙航空研究開発機構 宇宙部品技術コーディネーター 杉尾 晃正氏

講演③『超大型三次元測定器で航空・宇宙へ』

(株)川崎製作所 代表取締役 川崎 修氏

航空機・自動車部品 協力団体展示コーナー

【(社)日本自動車部品工業会】

会員企業展示ブース

■矢崎総業(株)、日本発条(株)、(株)ワイビーシステム、(株)深井製作所

【(社)日本自動車部品工業会PRブース】

『部品の小型・軽量化技術と先進環境対応車に関する技術』

【次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)】

生産・整備用機材開発グループブース 複合材研究会ブース OWO企業ブース

■OWO参画企業：茨木工業(株)、(株)インテック、(株)エスディーシー、(株)エムジェイテック、大河内金属(株)、大阪精工(株)、(株)大福精工、川並鉄工(株)、(株)宏栄スプリング工業(株)、(株)和鉄工業(株)、(株)シカタ、三陽鉄工(株)、三和精工(株)、(株)セイコー、(株)田中、(株)ダイテックノズ、(株)中央電機計器製作所、(株)ツールオカフサ、(株)東京チタニウム、(株)東和製作所、中川鉄工(株)、長井精機(株)、奈良精工(株)、日東商事(株)、野田金型(株)、能勢鋼材(株)、(株)マルイ、南製作所、(株)メロスコ、由良産商(株)、(株)吉見、理研製鋼(株)、(株)ロブテックス

【まんてんプロジェクト】

まんてんプロジェクト活動内容の紹介 会員企業による製品・パネル展示、カタログ展示

■新日産ダイヤモンド工業(株)、(株)湘南デザイン、アプリハウス(株)、(株)野島製作所、ケンユウテック(株)、大洋金属工業(株)、(株)トーコーエンジニアリング、新潟メタリコン工業(株)、白銅(株)、(株)ヒーススタッフ、ムラエアロスペース、高和電気工業(株)、(株)山崎技研、(株)川崎製作所、(株)タアプ、協栄エンジニアリング(株)

プレゼンテーション

【次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)】

① OWO『OWO航空機産業参入への取り組み』

(株)吉見屋 代表取締役 金 焯輔氏

② 生産整備用機材開発グループ『航空機産業参入へのアプローチ実績と計画』

野田金型(有) 代表取締役 堀口 展男氏

③ 複合材研究会『一貫生産へ向けた複合材研究会の取組み』

能勢鋼材株式会社 能勢 善夫氏

【ダツソー・システムズ株式会社】

『ものづくりのためのCATIA1-タクトソリューションへリソース・エンジニアリングから加工まで一気通貫を実現!～』

パルーセリング事業部ビジネス・ディベロップメント部 テクニカルサポート 平田 晴男氏

【牧野フライス精機株式会社】

『多軸CNC研削盤による部品加工』

技術部 マネージャ 吉田 透氏

【まんてんプロジェクト】

①『まんてんプロジェクトの現状と今後の展開』

(株)吉見屋 代表取締役 愛 恭輔氏

②『ダイヤモンドラッピングシートの利用技術』

新日産ダイヤモンド工業(株) 技術開発部 福屋 英孝氏

③『トレスビリティと生産システム』

ケンユウテック(株) 代表取締役 山口 謙治氏

④『3D CADによる金型設計』

(株)ヒーススタッフ COO 西村 正哉氏

⑤『オペレーション・タイム・リサーチ・ソフトウェア(OTRS-SA Version4)』

アプリハウス(株) 製造システム営業部 松浦 謙一郎氏

⑥『耐熱材の多品種少量品のプレス加工』

(株)野島製作所 代表取締役 新井 利満氏

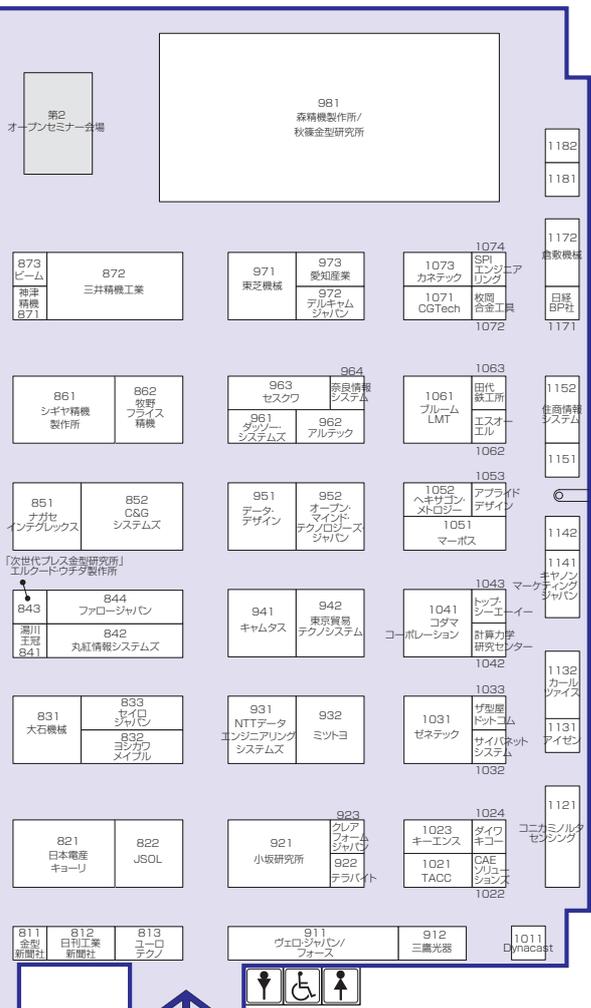
【(社)日本自動車部品工業会】

①『環境規制に対応した電解クロムめっき法の開発』

(株)ワイビーシステム 工場長 新藤 守久氏

②『ハニカム・エンボスによる薄板・軽量化の可能性』

(株)深井製作所 開発課 課長 須永 行氏



登録所②

【(社)日本金型工業会ブース一覧(小間番号521)】
アイセル(株)、明石プラスチック工業(株)、(有)アルフ、池上金型工業(株)、(株)イクセス、(株)伊藤製作所、ウィンデックス(株)、(株)角井精機工業(株)、(株)打田製作所、(株)内山精工、(株)エナミ精機、(株)エムアイモルテ、大垣精工(株)、(株)精工精機、(株)豊山金型工業(株)、(株)カワマタテクノス、キヤノンモールド(株)、(株)クラムワークス、黒田精工(株)、江南特殊産業(株)、(株)サイベックコーポレーション、佐藤製鋼(株)、(株)狭山金型製作所、(株)三誘フラインツール、(株)蓮々精機、昭和精工(株)、(株)新日本テック、(株)鈴木、精技金型(有)、(株)ダイ精研、(株)タカノ、(株)田中金型製作所、(株)タミーマシナリー、(株)チバパダイス、(株)テッククラーツ、(株)寺方工作所、豊田精工(株)、(株)長津製作所、(株)名古屋精密金型、(株)ニッパク、野田金型(有)、(株)橋本テクニカル工業、浜松部会若手会、(株)早川ダット工場、ファンテック(株)、ベントム工業(株)、(株)松野金型製作所、ミツエモールドエンジニアリング(株)、(株)三不二超硬、(株)ムトウ、名神工業(株)、(株)モルテック、(有)吉中精工、(株)ワンロード

【(社)日本金属プレス工業協会ブース一覧(小間番号522)】
(株)アイエムアイ、(株)エスケイケイ、(株)大貫工業所、(株)橋田生産工業所、(株)阪口製作所、城山工業(株)、新世代加工システム(株)、須川工業(株)、(株)セラ、(株)ゼロム、(株)先端力学シミュレーション研究所、(株)ソーデナナゴ、タイムック(株)湘南工場、(株)豊島製作所、東京農工大学、日本大学生産工学部、日本フォーミング(株)、ヒルタ工業(株)、不二精工(株)、(株)富士プレス、(株)プロキオン、(株)平安製作所、(株)ホクエイ、(株)丸武部品、(株)三井三池製作所 精密機器事業本部、ミヤマ精工(株)、三吉工業(株)、(株)村元工作所、(株)山岡製作所

2010年大阪 出展者一覧

国内

<INTERMOLD> INSI いわて金型研究会、(株)秋篠金型研究所、(株)旭プレジジョン、(株)アマダ、イカスカジャパン(株)、(株)イチグチ、伊藤忠マシンテクノス(株)、(株)イワサキ、(株)イワツール、(株)いわて金型技研、インガソル・テグテックジャパン(株)、ヴェロ・ジャパン(株)、(株)宇宙情報システム、(株)Aiソリューションズ、(株)エイト、エスオーエル(株)、(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ、(株)MSTコーポレーション、オーエスジー(株)、オークマ(株)、オートデスク(株)、オープン・マインド・テクノロジー・ジャパン(株)、大石機械(株)、(株)オンワード技研

カールツァイス(株)、片倉工業(株)、(株)金型新聞社、(株)カナック、(株)カワタ、(株)関西石油製品販売、キャムタス(株)、倉敷機械(株)、クレアフォームジャパン(株)、(株)計算力学研究センター、(株)工業調査会、神津精機(株)、鋼鍛工業(株)、(株)小坂研究所、コダマコーポレーション(株)

齋藤金型製作所、(株)サンアイ精機、三和商工(株)、(株)C&Gシステムズ、(株)CAEソリューションズ、(株)CGTech、(株)ジーベックテクノロジー、(株)JSOL、(株)塩入製作所、システム・スリーアル日本(株)、次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)、清水電設工業(株)、(株)樹研工業、(株)シルバロイ、シンベンティブ・モルディングソリューションズ(株)、(株)スキノマシン、ストーブリー(株)、(株)ストルツコーポレーション、(株)スリーエー産業、西部電機(株)、(株)セイロジャパン、(株)セスク、(株)セネテック、双和化成(株)、(株)ソディック、ソマックス(株) ダイゼット工業(株)、大昭和精機(株)、タイコ(株)、(株)田代鉄工所、(株)タンガロイ、千代田交機(株)、(有)ツールディスカバー、ZOLLER Japan(株)、(有)塚原製作所、(株)データ・デザイン、DMG、(株)テクノクラーツ、テクノコート(株)、東京貿易テクノシステム(株)、東芝機械(株)、東洋研磨材工業(株)、(株)戸田精機

ナガセインテグレーション、中日本炉工業(株)、浪速鉄工(株)、ナノコート・ティーエス(株)、(株)ナノソフト、(株)奈良情報システム、(株)日刊工業新聞社、日経BP社、日高精密光学(株)、日進工具(株)、日東工器(株)、日本製紙クレシア(株)、日本トムソン(株)、社団法人日本自動車部品工業会、日本スピードショー(株)、日本精密機械工作(株)、日本特殊陶業(株)、ノガ・ジャパン(株)

ハイウイン(株)、(株)橋本テクニカル工業、PCL(株)、日立ツール(株)、枚岡合金工具(株)、フアナック(株)、ファロー・ジャパン(株)、(株)不二製作所、富士ダイス(株)、ブラザー・スイスルー・ジャパン(株)、ブラッシュ ウエルマン(株)、(株)ブルームLMT、(株)ブロードリーフ

マーボス(株)、(株)牧野フライス製作所、丸紅情報システムズ(株)、まんでんプロジェクト、三井精機工業(株)、(株)三井ハイテック、(株)ミツトヨ、三菱電機(株)、モニター(株)、ミリヘルジャパン(株)、(株)本山合金製作所、(株)森精機製作所

安田工業(株)、(株)ヤマシタワークス、(株)山本科学工具研究社、(株)ユーロテック、ユキワ精工(株)、ヨシカワメイブル(株)、レニショー(株)

<金型展> アイセル(株)、明石プラスチック工業(株)、イースタン技研(株)、(株)内山精工、(株)エナミ精機、遠州工業(株)、大垣精工(株)、沖縄県 岐阜精機工業(株)、キャノンモールド(株)、(株)クリエイトダイス

サイベックコーポレーション、佐藤技研(株)、(株)三誘ファインツール、[次世代プレス金型研究所] (株)エルクード ウチダ製作所、(株)狸々精機、(株)新日本テック、(株)鈴木、(株)ソルテック

タカノ、(株)タミマシナリー、TSPプレジジョン(株)、(株)寺方工作所、友鉄工業(株) 長津製作所、日伸精機(株)、社団法人日本金型工業会

(有)橋本工業(株) 藤岡製作所

前田技研、(株)松野金型製作所、(株)三不二超硬

ユニオン精機(株)、(株)淀川精機(株)

ワンロード

<金属プレス加工技術展> アイダエンジニアリング(株)、アクア化学(株)

(株)カサタ、協同組合京都府金属プレス工業会、(株)神村製作所、コマツ産機(株)

(株)最上インクス、(株)阪口製作所、城山工業(株)、須河車体(株)、(株)セラ、(株)ゼロム、(株)そうぎょう

タイムック(株)、(株)タイヨーアクリス

社団法人日本金属プレス工業協会、日本電産キョーリ(株)

(株)橋本工業(株)、(株)不二精工(株)

(株)丸武部品、ミヤマ精工(株)、三吉工業(株)、(株)村元工作所、モルフック(株)

(株)山岡製作所

海外

<INTERMOLD> BEILUN JULI EXATITUDE MOULD CO.,LTD., China Council for the Promotion of International Trade, Machinery Sub-Council, China Die & Mould Industry Association (CDMIA), Forwa Precise Plastic Mould Co.,Ltd. HUNAN BOYUN-DONGFANG POWDER METALLURGY CO.,LTD, HUNG-CHIEF STEEL MACHINE CO., LTD., Jing Zhou Plastic Products (Shanghai) Co., Ltd., KUNSHAN RONTEN M&D CO.,LTD., LIP SHENG PRECISION (ZHUHAI) CO.,LTD, Ningbo Jinlong Electric Appliance Co.,Ltd., NINGBO SUNNY MOULD CO.,LTD, Pinpotech mold & plastic(s.z) co.,Ltd, Shanghai Jinlong Mould Manufacture Co., Ltd., SHANGHAI TALEKOM PRECISION MOULD CO.LTD, Shenzhen Jinhzhou Precision Technology Corp, TAL SLD INDUSTRIAL CO., LTD. 大連金型工業団地弁公室

<金型展> ASPIC CO., LTD., Bucheon Industry Promotion Foundation, BUKWANG TECHNOLOGY CO.,LTD, D and E Co.,Ltd., DAE SAN INDUSTRIAL CO., LTD., Demat GmbH, DOWON MOLD CO.,LTD, Dynacast(Singapore)Pte Ltd., Gwangju Association for Die & Mold Industry Development, ILBEO CORPORATION, Insung Enpla Co., Ltd., IPEC High Precision, Inc., K2 LASER SYSTEM, Inc, Kae Sung Co.,Ltd., Korea Die & Mold Industry Cooperative, MODEL SOLUTION, SHIN WON PRECISION MOLD CO.,LTD, Sun Plasteck Co.,Ltd, TECHNORISE Co., Ltd, TLtek Co., Ltd.

<金属プレス加工技術展> Pengfei Metal & Mold Co.,Ltd(PressField Metal Products(Shenzhen) Co.,Ltd), Schuler AG

参考資料 2011年東京 出展申込一覧

※2011年3月11日以前に出展予定であった企業を掲載しております。

注意!!

INTERMOLD2011/金型展2011ならびに金属プレス加工技術展2011は、2011年4月に東京ビッグサイトにて開催を予定しておりましたが、同年3月に発生いたしました東日本大震災の影響により開催中止となりました。掲載内容は予定しておりました概要となっております。 ※参考資料として掲載しておりますので、予めご了承ください。

国内

<INTERMOLD> INSI いわて金型研究会、(株)アイゼン、愛知産業(株)、(株)アイピーエス、(株)秋篠金型研究所、(株)旭プレジジョン、アブライドデザイン(株)、(株)アマダ、(株)アマダマシンツール、アルテック(株)、(株)アルプスツール、イカスカジャパン(株)、(株)イチグチ、伊藤忠マシンテクノス(株) (ハース オートメーション)、(株)イワツール、インガソル・テグテック ジャパン(株)、(株)Industria、ヴェロ・ジャパン(株)、エイターケイタカシ(株)、(株)エイト、エスオーエル(株)、(株)SPIエンジニアリング、(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ、(株)MSTコーポレーション、大石機械(株)、オーエスジー(株)、オープン・マインド・テクノロジー・ジャパン(株)、(株)岡本工作機械製作所、(株)オンワード技研

カールツァイス(株)、(株)片倉製作所、(株)金型新聞社、(株)カナック、カネテック(株)、(株)ケーエンス、(株)キメラ、キャノンマーケティングジャパン(株)、キャムタス(株)、京町産業車輛(株)、共和産業(株)、倉敷機械(株)、クレアフォームジャパン(株)、(株)クロダ、(株)計算力学研究センター、神津精機(株)、広和エムテック(株)、(株)小坂研究所、コダマコーポレーション(株)、ユニカミルタセンジック(株)

齋藤金型製作所、サイバネットシステム(株)、薬製機(株)、(有)ザ型屋トットコム、(株)サンアイ精機、(有)サンエイモールド、三和商工(株)、(株)C&Gシステムズ、(株)CAEソリューションズ、(株)CGTech、(株)ジーベックテクノロジー、(株)JSOL、ジエムス・エンジニアリング(株)、(株)シギヤ精機製作所、システム・スリーアル日本(株)、次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)、清水電設工業(株)、(株)シルバロイ、(株)ストルツコーポレーション、住商情報システム(株)、(株)スリーエー産業、西部電機(株)、(株)セイロジャパン、(株)セネテック、(有)セラテックジャパン、双和化成(株)、(株)ソディック、(株)ソディックプラスチック、ソマックス(株)、Zoller Japan(株)

ダイゼット工業(株)、大昭和精機(株)、(株)ダイワキョー、(株)田代鉄工所、ダンソーシステムズ(株)、(株)タンガロイ、(有)ツールディスカバー、TACC(株)、DSI International(有)、(株)データ・デザイン、テクノコート(株)、(株)テクノナカニ、(株)テラハイ、(株)テラキヤム ジャパン、東京貿易テクノシステム(株)、東芝機械(株)、東洋研磨材工業(株)、(株)東洋プレジジョン、(株)トップ・シーエー

ナガセインテグレーション、中日本炉工業(株)、浪速鉄工(株)、ナノコート・ティーエス(株)、ナノテック(株)、(株)ナノフィルムテクノロジー・ジャパン、(株)奈良情報システム、(株)日刊工業新聞社、(株)日経BP社、日進工具(株)、日東工器(株)、日本製紙クレシア(株)、日本特殊陶業(株)、日本スピードショー(株)、社団法人日本自動車部品工業会、ノガ・ジャパン(株)

白鋼(株)、(有)橋本工業、(株)橋本テクニカル工業、パンチ工業(株)、ビーム(株)、日立金属(株)、日立ツール(株)、枚岡合金工具(株)、フアナック(株)、ファロー・ジャパン(株)、(株)フォース、福田交機(株)、(株)不二越、(株)不二製作所、富士ダイス(株)、双葉電子工業(株)、ブラザー・スイスルー・ジャパン(株)、(株)ブルームLMT、ヘキサゴン・フロリダ(株)

マーボス(株)、(株)牧野フライス精機(株)、(株)牧野フライス製作所、丸紅情報システムズ(株)、まんでんプロジェクト、三鷹光器(株)、(有)三井印刷、三井精機工業(株)、(株)ミツトヨ、三菱電機(株)、モニター(株)、ミリヘルジャパン(株)、(株)森精機製作所

安田工業(株)、山下電気(株)、ヤマシタワークス、(株)ユーロテック、ユキワ精工(株)、ユニオンツール(株)、ヨシカワメイブル(株)

ルンキーメタルジャパン(株)、(有)鈴峰

(株)YHB JAPAN、和田工業(株)

<金型展> アイセル(株)、明石プラスチック工業(株)、(有)アルフ、イースタン技研(株)、池上金型工業(株)、(株)イケックス、(株)伊藤製作所、ウインテックス(株)、魚岸精機工業(株)、(株)打田製作所、(株)内山精工、(株)エナミ精機、(株)エムアイモールド、大垣精工(株)

(株)柿生精密、(株)嶽山金型工業(株)、(株)カワマタテクノス、キャノンモールド(株)、(株)クライムワークス、黒田精工(株)、江南特殊産業(株)、(株)寿精密

(株)サイベックコーポレーション、佐藤技研(株)、佐藤製型(株)、(株)狭山金型製作所、(株)三誘ファインツール、(株)塩入製作所、(株)狸々精機、聖徳ゼロテック(株)、昭和精工(株)、(株)新日本テック、(株)鈴木、精技金型(有)、(株)ソルテック

(株)タイ精研、(株)タカノ、(株)田中金型製作所、(株)タミマシナリー、(株)チバダイス、TSPプレジジョン(株)、(株)テクノクラーツ、(株)寺方工作所、友鉄工業(株)、豊田精工(株)

(株)長津製作所、(株)名古屋精密金型、(株)ニツパク、野田金型(有)

(株)橋本テクニカル工業、浜松部会若手会、(株)早川タクト工業、フラインテック(株)、ベントム工業(株)

(株)松野金型製作所、ミツエモールドエンジニアリング(株)、(株)三不二超硬、(株)ムトウ、名神工業(株)、(株)モルテック

(有)吉中精工

(株)ワンロード

<金属プレス加工技術展> 嗚呼、いいものあるわんこ、(株)アイエムアイ、アイダエンジニアリング(株)、(株)エスケイケイ、(株)大貫工業所、岡谷市・岡谷市金属連合会、岡谷熱処理工業(株)

(株)橋田生産工業所

(株)阪口製作所、[次世代プレス金型研究所] (株)エルクード・ウチダ製作所、城山工業(株)、新世代加工システム(株)、須川工業(株)、(株)スキムラ精工、星光工業(株)、(株)セラ、(株)ゼロム、(株)先端物性シミュレーション研究所、(株)ソーデナゴ

タイムック(株)、(株)湘南工場、(株)豊島製作所、東京農工大学

日本大学 生産工学部、日本電産キョーリ(株)、日本フォーミング(株)

(株)平出精密、ヒルタ工業(株)、不二精工(株)、(株)富士プレス、(株)プロキオン、(株)平安製作所、(株)ホクエ

(株)丸武部品、(株)三井三池製作所 精密機器事業本部、ミヤマ精工(株)、三吉工業(株)、(株)村元工作所

(株)山岡製作所、湯川王冠(株)

海外

<INTERMOLD> Asia Mold, China Die & Mould Industry Association(CDMIA) China Council for The Promotion of International Trade Machinery Sub Council (CCPIT), EURO Mold, Hunan Boyun-Dongfang Powder Metallurgy Co., Ltd., Konfu Enterprise Co., Ltd., Kunshan Greatly Co., Ltd., Lip Sheng Precision (Zhuhai) Co., Ltd., METALEX, NingBo Bei Lun Juli Exactitude Mould Co., Ltd., Toltec Engineering Co., Ltd., Tianjin Yingchen Precision Tooling & Mould Co.,Ltd., VARGUS Ltd., Vision Tool & Mould, 大連金型工業団地弁公室、大連衆力模具製造有限公司

<金型展> Bestec Co., Ltd, BUCHEON INDUSTRY PROMOTION FOUNDATION, BUKWANG TECHNOLOGY CO., LTD, EVA Precision Industrial Holdings Limited, GTM Corporation, Hankuk Precision Co., Ltd, Hwasung Mold Co., Ltd, I&TECH Co.,Ltd, INSUNG ENPLA CO., LTD, JIN HYUNG Ind.Co., LTD, JUKWANG precision CO., LTD, Juyoung Hightec Co., Ltd, Kae Sung Co.,Ltd., Korea Association For Die & Mold Industry Development, Korea Die & Mold Industry Cooperative (KODMIC), Korea Precision Co., Ltd, Kunshan Junshuo Mould Co., Ltd., POSCO TMC CO., LTD, RAYMOLD CO.,LTD, Shinwon Electronics Precision Co., LTD, Sunplatech Co., Ltd., Super Mold Technology Co., Ltd., Suzhou International Economic-Technical Cooperation Co., Ltd., TLtek, WIDIN CO., LTD, Won Jin Industry CO., LTD, YAWATA Korea Co., Ltd

<金属プレス加工技術展> Ming Chiang Precision Co., Ltd.

出展申込書

申込日： 年 月 日

インターモールド振興会殿

裏面記載の出展規程を遵守することを承諾し、下記の通り出展を申し込みます。

〈1〉出展申込者

会社名	フリガナ	代表者 (役職)	フリガナ (氏名)
	和文		印
	英文		
本社所在地	〒	TEL	
		URL	http://

*本展示会ホームページにリンクするアドレスをご記入下さい。

〈2〉出展実務(連絡)担当者

住 所	〒	TEL	
所属部課		FAX	
役 職	フリガナ 氏名	E-mail	

〈3〉展示会種別 ※出展する展示会にチェックを入れて下さい。

INTERMOLD 金型展

〈4〉出展申込小間数および出展料金

	Aタイプ		Bタイプ		出展料金 (①×②)	支払予定期日	
	小間単価 ①	申込小間数 ②	小間単価 ①	申込小間数 ②			
一般	336,000円(税込) <small>320,000円 出展料金+16,000円 消費税</small>	小間	409,500円(税込) <small>390,000円 出展料金+19,500円 消費税</small>	小間	¥	年 月 日	
会員	315,000円(税込) <small>300,000円 出展料金+15,000円 消費税</small>	小間	388,500円(税込) <small>370,000円 出展料金+18,500円 消費税</small>	小間			
*会員価格は、(社)日本金型工業会の正会員のみに適用されます。						(税込)	支払期限 2011年12月26日(月)<厳守>

〈5〉小間形態の希望 ※4小間以上の場合のみご記入下さい。

単列

 複列

〈6〉セミナー開講希望(有料) ※別途正式なセミナー開講申込書をご提出いただけます。

出展者によるプレゼンテーションセミナーの開講を予定・検討している場合は
V印をご記入下さい。 開講を希望します

〈7〉主な出展物および製造業者名 ※新規出展の場合は、会社案内と出展製品のカタログを必ず添付して下さい。

出展物	会社名	生産国名

〈8〉上記内容より主要製品ジャンルをご記入下さい。*会場レイアウトの参考とさせていただきます。

(例) マシニングセンタ、CAD/CAM

〈9〉連絡欄 ※他社と共同出展する場合は、会社名とホームページアドレスを必ずご記入下さい。

事務局使用欄

受 付	請求内容	請求書No.	請求日	入金日	1	2	3
受付日	出展料金				4	5	6
受付番号					7	8	9

キリトリ線

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。これに基づき、出展者は、2011年12月26日(月)までに出展料金を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展契約の成立時期

出展申込書に基づく出展契約の成立時期は、申込日に拘わらず事務局が出展申込書を郵便又はFAXで受け取った時点とします。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1)出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2)出展申込締切日の翌日(2011年12月1日)以降、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。
なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2011年12月1日～2011年12月31日	出展料金の50%
2012年1月1日～2012年1月31日	出展料金の75%
2012年2月1日以降	出展料金の100%

- (3)出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4)事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金を全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - ①2011年12月26日(月)までに出展料金を完納しない場合
 - ②事前申告なしに搬入日の2012年4月17日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1)小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、出展者説明会時に通知します。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2)主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。
なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾に関する規制と撤去・搬出

- (1)小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更と同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- (3)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

- (1)主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。
- (2)出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

お問い合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 株式会社アイ・ティ・ピー内
TEL:06-6944-9911 FAX:06-6944-9912
E-mail:infoim2012@itp.gr.jp